

1. 科目名 (単位数)	情報倫理 (2 単位)	3. 科目番号	EDIT2305
2. 授業担当教員	里吉竜一		
4. 授業形態	講義および演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	情報科教諭免許選択科目 (ただし、情報科教員として必須の内容であるの履修することが望ましい。) 「情報セキュリティ」と併せて履修することを推奨する。(履修条件ではないので、どちらか片方だけの履修でもよく、履修順序も問わない)		
7. 講義概要	本科目では、情報機器およびインターネットを活用するときの基本的倫理を学習する。また、情報社会における多様な情報倫理に関する諸問題を把握するとともに、その理論的根拠について考察する。具体的には、知的所有権、プライバシー、ネチケット、セキュリティなどの情報倫理について解説し、適切な行動様式を体得することを目標とする。		
8. 学習目標	情報技術を利用する上での安全性やモラル等の諸問題に関して、技術的側面のみでなく、倫理や社会的側面にも焦点を当てて論じることができるようになる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	教科書の各章を割り当て、発表レジメをまとめて授業で発表及びディスカッションを行うという、アクティブ・ラーニングを通じて実社会で通用する周りの人と協力し合う能力や自ら進んで学ぶ能力を身に付けることができます。最終課題は、自分が発表を担当した章以外のテーマについて簡潔に要点を整理し、それらに対する自分の意見を発表して提出します。 ・各章レポート (1 回) ・最終課題 (1 回)		
10. 教科書・参考書・教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書：情報教育学研究会・情報倫理教育研究グループ『情報倫理 改訂版』実教出版、2023。</li> <li>参考書：Ryuichi Satoyoshi『Human beings and generative AI』Kindle Edition Amazon Services International LLC、2024。 横溝紳一郎・山田智久『日本語教師のためのアクティブ・ラーニング』くろしお出版、2021。 講義の中で適宜紹介します</li> </ul>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報技術を利用する上での安全性やモラル等の諸問題に関して、技術的側面を説明できるか。</li> <li>2. 情報技術を利用する上での安全性やモラル等の諸問題に関して、倫理や社会的側面を説明できるか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平常点 (授業への積極的参加・小テスト・レポート等) 50%</li> <li>2. 最終考課 (テストもしくは最終課題) 50%</li> </ol>		
12. 受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正解を事前に設定できない問題を科学的な根拠に基づいて解決し、生涯にわたって自ら学び続けられる素養を身に付けることができます。</li> <li>・Society5.0 と GIGA スクール構想に対応した授業を設計するので各自パーソナルデバイス (スマホかタブレット) を準備してください。</li> <li>・質問はいつでも気軽にしてください。</li> <li>・欠席、遅刻、早退をする場合は連絡してください。</li> </ul>		
13. オフィスアワー	・面談や補講の希望者は事前にメール等で連絡してください。詳細は授業で通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	春期イントロダクション I 情報倫理の概要、ICT 経験値に関するアンケート、アクティブ・ラーニングについて等を確認して発表レポート (章) を割り当て春期講義の導入とします。	事前学習	はしがきを読んでおく。
		事後学習	発表レジメの書き方や発表の方法等について理解した上で、自分の担当章の読解、資料収集、レジメ作成や発表準備を始める。
第 2 回	第 1 章 1 節 情報と情報社会の特徴	事前学習	教科書 pp.6~9 を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる
第 3 回	第 1 章 2 節 情報の受信・発信と個人の責任	事前学習	教科書 pp.10~15 を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる
第 4 回	第 2 章 1 節 個人情報	事前学習	教科書 pp.18~23 を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる
第 5 回	第 2 章 2 節 知的財産	事前学習	教科書 pp.24~33 を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる
第 6 回	第 3 章 1 節 電子メールによる情報の受信・発信	事前学習	教科書 pp.36~43 を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる

			とめる
第7回	第3章2節3節 Web ページによる情報の受信・発信等	事前学習	教科書 pp.44～53 を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる
第8回	第4章1節 身近な生活における情報	事前学習	教科書 pp.56～63 を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる
第9回	第4章2節 社会生活における情報	事前学習	教科書 pp.64～71 を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる
第10回	第4章3節 ネット社会におけるトラブルと犯罪	事前学習	教科書 pp.72～79 を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる
第11回	第5章1節 情報セキュリティとネット被害	事前学習	教科書 pp.82～91 を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる
第12回	第5章2節3節 情報セキュリティとネット被害	事前学習	教科書 pp.92～105 を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる
第13回	最終課題作成・提出 これまでに学習したことを活用して最終課題を作成するために、「テーマ」「作成条件」「評価規準」を確認して評価方法、評価システム、教育的価値等を講義します。	事前学習	これまでの授業内容を復習しておく
		事後学習	諸条件を確認して最終課題を提出する
第14回	最終課題発表 所定の場所に最終課題を提出して発表します。	事前学習	前回の授業内容の復習をしておく
		事後学習	「評価規準」を確認して自己評価及び相互評価の教育的価値を考える
第15回	総合演習：自己評価と相互評価 学生自身が他者の最終課題を評価するのと同じように客観的に自己の最終課題も評価する実践を行います。自己の内面に向かう自己教育力の醸成を目的とします。	事前学習	最終課題を客観的に評価する意義を考えておく
		事後学習	どうしたら客観的な自己評価ができるようになるかについての考察を深める